

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 令和5年度保育園・認定こども園などの入園児を募集
- 4 10月2日(日)は市議会議員選挙の投票日
- 6 コロナ禍の応急処置『3つの基本』
- 7 認知症の早期発見と早期対応に理解を
- 8 フォトグラフ
- 12 9月10日は下水道の日です
間伐で災害に強い健康な森林づくり
- 13 インフォメーション
- 17 図書館だより
- 18 救急協力医
- 20 裾野っ子
すこやかタウン

表紙 Front cover



市内中学生の制服が統一

市立中学校の制服は令和5年4月の新入生から市内統一の制服を導入します。市内すべての中学校が同じ制服を採用するのは県内でも初めてです。多様性に認めていく令和の時代に対応するデザインに変更されました。8月の定例記者会見で西中学校の生徒さんが代表してお披露目しました。



WRO Japan 2022 静岡県裾野地区 公認予選会実行委員会事務局長

松岡 広也さん (48歳)

8月7日(日)、市生涯学習センターで自律型ロボットによる世界最大級の国際的なロボットコンテストWRO (World Robot Olympiad) Japan 2022静岡県裾野地区公認予選会が開催されました。予選会は全国37カ所で開催されますが、市内で開催されるのは初めてです。実行委員会事務局長の松岡さんは、「県内では毎年浜松市で予選会が開催されています。東部の子どもたちにも気軽に大会に参加してほしいと思ひ、市内での開催に取り組みました」と話しました。

松岡さんは、光明寺の住職です。お寺では、レゴを使ったプログラミング教室「ロボ団裾野光明寺校」を開催し、2019年にはハンガリーで開催されたWRO国際大会に出場しています。「国際大会では、世界と日本のレベルの違いに驚きました。海外の参加者は、プログラミング技術はもちろん、英語は話せるし堂々と自分の意見を発表することもできる。裾野の子どもたちには、東京や大阪のプログラミング教室じゃなくても、裾野から世界を目指していいんだという夢を持って勉強をしてもらいたいです」と期待を込めます。

お寺とプログラミングの関係について聞くと、「共通点は、どちらも自分と向き合い、自分で答えを見つけなければならぬところ。先のことを考えると不安になることもありますが、諦めない粘り強さが大事ですね」と話してくれました。



susonobito No.42